



八小学習便り



八幡市立八幡小学校
令和2年10月23日

いつの間にか、季節はすっかり秋模様となってきました。過ごしやすくなってきたこともあり、外遊びを楽しんでいる子どもたちを運動場でよく見かけます。さて、最近の各学年の学習の様子をお知らせします。ご家庭でも話題の一つとして取り上げていただけると幸いです。

こぼと学級

暑い夏が続いた後は、寒暖差の激しい秋の到来。例年やっていたことも変更を余儀なくされ、移り行く季節をゆっくり味わうことができない中で、俳句・川柳づくりに取り組んでいます。毎回、じっくり時間をかけて、みんなで言葉を出し合いながら、指を折っては「これはバッチリや」と作品にしていきます。いつもとは違うところを、五感を働かせながら素直に言葉にしていけるので、ほっこりほほえましいものに仕上がるのが、こぼと児童の魅力です。『秋になり おちばいっぱい すべっちゃん』(児童の作品から)

1年生

国語科の授業で「うみのかくれんぼ」を学習しました。海の生き物の隠れ方を知り、驚いている児童が多く見られました。「何が」「どこに」「どのように」隠れているかを図鑑から抜き出し、自分だけの海の生き物図鑑を作成しました。完成した図鑑を交流する時間では、友達の図鑑を見て頷いたり、驚いたり、とても楽しそうでした。日々の学習の中でも、感想やふり返りを進んでたくさん書いて学びを深めています。

2年生

国語科では、『どうぶつ園のじゅうい』という説明文を学習しました。「いつ」「仕事」「その仕事をする理由」「仕事をする上での工夫」の観点に沿って読み進めました。獣医さんの仕事のたいへんさがわかると共に、自分が病気になった時のことや、家で飼っているペットのことを思い出して、まとめの感想が書いていました。今は『お手紙』を読んでいます。かえるくんとがまくんのクスツと笑える会話を楽しんでいます。二人の人物像をまとめた後に、音読劇に取り組む予定です。

3年生

国語科では、9月から物語文「ちいちゃんのかげおくり」を学習していました。場面ごとに比較して読むための、部分シートを使ったり、ワークシートを活用して取り組んできました。読み始めた当初から、物語にとっても興味関心を持ち、進んで音読をする様子が見られました。学習を通して、主人公のちいちゃんの気持ちになって考えたり、客観的に見て自分はどう思ったかといった読みを深めたりすることができました。

4年生

国語科では説明文「世界にほこる和紙」を読んで、わかりやすい説明の仕方を学びました。文章の中の中心となる語や文を見つけ、語と語、文と文のつながりを考えて要約文を書きました。集中して文章を読む姿がたくさん見られました。

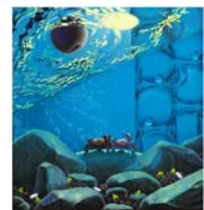


5年生

国語科では、話し合いの学習をしました。「よりよい学校生活のために」という教材では、よりよいクラスをテーマに掲げ、解決したいクラスの課題やクラスで新たにしてみたいことについて考えました。グループの中で、司会や記録係、タイムキーパーなどの役割を決め、たがいの考えについて質問したり答えたりしながら話し合いを進めました。学習の最後には、グループで話し合った結果を報告し合い、話し合いの中で良いと思ったことを伝え合うことができました。

6年生

10月に入り、国語科では宮沢賢治の作品「やまなし」を学習しました。単元のゴールとなる単元目標を初めて自分たちで考え、それに向かってどのような学習をすれば良いのかという計画も立てました。筆者である宮沢賢治の生きた時代や、理想とした世界についての理解も深め、より「やまなし」という作品の奥深さにせまることができました。この学習を機に、様々な賢治作品に出会ってほしいと思います。





俳句・川柳の作品紹介



<第2回目の俳句・川柳>

第2回目の『楽しもう俳句・川柳』のテーマは「秋」でした。秋を感じる素敵な作品がたくさん集まりました。いいねに選ばれた作品を紹介します。なお、子どもたちの作品は職員室前に掲示しています。



ホ
ー
ム
ペ
ー
ジ
用

まっかっか もみじの木	夕日の上に 季節はずれの	赤とんぼ せみが鳴く
お月見だ みのむしだ	うさぎもちつき 葉っぱの上から	月うつる こんにちは
秋の空 流れ星	きれいな風が ねがい事だよ	ひらひらと あせらない
月見の日 秋の日に	だんごを作る 空見上げると	秋の月 赤とんぼ
秋の夜 さんぽみち	おとがなったら もみじまいおち	やきいもだ きみのかた
音楽会 くんくんくん	さあーて開くぞ たどってみると	秋の虫 金木せい
運動会 もみじがり	小鳥もおうえん 上むきすぎて	ピーピーピー 首もどらず
ねむるころ 歩くたび	すずむしたちが もみじをふんで	泣いている パリパリパリ
夕暮れに 落葉に	かすかにきこえる こっそりかくれる	キリギリス むしたちよ
夕暮れの 部屋のまど	空に広がる 夕日がさしこむ	こがね色 一人部屋
舞い下りて すずしげな	オレンジ色の 音の放ち手	カーペット きりぎりす
リンリンリン 山たちが	ゆめへとさそう こうようをして	虫の声 ころもがえ